令和４年度　音楽科　授業改善推進プラン

大田区立大森第四中学校

１　昨年度の授業改善推進プランの検証

（１）成果

・授業にはどの生徒も落ち着いて意欲的に参加できていた。特に合唱には積極的に取り組む生徒が多い。

・鑑賞については意欲をもって取り組み、深く楽曲を理解しようとする姿勢が見られた。

・ＩＣＴを活用することによって、授業で取り扱った音源を教室や家庭でも聴くことができるようにした。

（２）課題

・楽典的な知識が全般的に不足している。

・合唱に意欲的に取り組む生徒が多くいる一方で、声を出すことに苦手意識をもっている生徒も一定数いる。また、パート練習では課題意識をもって参加できている生徒もいれば、練習に消極的で声量が不足している生徒もいる。

・鑑賞において、意欲的ではあるが批評文として自分の意見を表現することに抵抗がある生徒が多くいる。

２　授業改善のポイント

（１）知識・技能

・楽典的な知識は３年間を通して段階的に理解が進むよう、計画的に指導していく。

・親しみやすい楽曲を教材として取り入れたり、発声のポイントを分かりやすく伝えたりすることで声を出すことへの抵抗感を取り除いていく。

・Google Classroom に合唱音源をアップロードし、合唱のパート練習で活用できるようにする。

（２）思考・判断・表現

・合唱曲の詩の内容にも目を向けさせ、表現の工夫に生かせるような授業展開を行う。

・鑑賞においては、楽曲を聴く観点を提示するなどして、曲の要素を感じ取ったり批評文にまとめたりしやすくできるようにワークシートを工夫する。

（３）主体的に授業に取り組む態度

・人前で歌うことに慣れるために、お互いの声を聴くことができる機会を多く設定する。

・パート練習では一人一人が個人の課題をもって取り組めるように振り返りカードを工夫する。

・鑑賞では、音源だけでなく映像資料を活用することで楽曲への興味・関心を高める。